教育プログラム・コースの概要

大学名等	滋賀医科大学大学院医学系研究科
教育プログラム・コース名	小児血液がんの診断法・治療法開発を担う医療従事者養成コース
対象者	医学専攻　博士課程
修業年限（期間）	４年
養成すべき人材像	小児血液がんにおける、最新の診断法と最新の治療を熟知し、それを基にして、さらなる小児がんの治癒生存率の向上、晩期合併症の軽減をはかるための、新規診断法の開発や、効果的な治療法の開発を遂行できる医療人を育成。
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	当院は滋賀県唯一の小児血液がん疾患の治療拠点病院であり、滋賀県おける小児血液がん疾患については、診断、治療について幅広く対応しなければならない。当科においては、小児がん診療の専門スタッフが充実している。また、当科は血液がんだけでなく幅広い小児科の分野の専門スタッフもそろっており、包括的な診断と治療、サポートケア、さらに晩期合併症にいたるまで指導ができる。また、これまでがん細胞の分子遺伝学的解析をしてきた実績もあり、基礎的研究をもとに、新規の診断法・治療法を開発できる。上記目標に合致する医療人を育成する環境が整っている。
指導体制	小児腫瘍グループスタッフ（小児血液・がん専門医、血液専門医）および滋賀医科大学小児科の他分野のスタッフが連携をとりながらon the job training、基礎研究、論文指導等を行う。
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	・小児血液がん専門医・指導医 ・国内外の血液・がんの研究機関へのポスドク留学

受入目標人数

対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
医学専攻 博士課程	1	1	1	1	1	5
計	1	1	1	1	1	5